

令和元年9月定例会 総務委員会（事前）

令和元年9月13日（金）

〔委員会の概要 県民環境部関係〕

岡田委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（11時41分）

これより、県民環境部関係の調査を行います。

この際、県民環境部関係の9月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（説明資料）

- 議案第1号 令和元年度徳島県一般会計補正予算（第2号）
- 議案第9号 徳島県立自然公園条例の一部改正について

【報告事項】

- ラグビーワールドカップ2019ジョージア代表事前チームキャンプ実施状況について（資料1）
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに係るトレーニングキャンプ実施状況について（資料2）
- 東京2020オリンピック聖火ランナー応募状況について（資料3）

板東県民環境部長

それでは、お手元にお配りしております総務委員会説明資料によりまして、9月定例会県議会に提出を予定しております県民環境部の案件につきまして、御説明を申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、一般会計予算における繰越明許費及びその他の議案等といたしまして、条例案が1件となっております。

説明資料の1ページをお開きください。

繰越明許費についてでございます。

環境首都課所管の自然公園等施設整備事業費では、剣山国定公園の施設整備に要する経費として2,760万円を繰り越すこととしております。

これは、関係者との調整による設計の追加など、工期に影響を及ぼす要因が生じていること、加えて、本年6月の公共工事の品質確保の促進に関する法律等の改正により、休日、準備期間、天候等を考慮した適正な工期の設定、施工時期の平準化に向けた債務負担行為、繰越明許費の活用による翌年度にわたる工期設定などが発注者の責務として明記され、建設現場の働き方改革への対応がこれまで以上に求められております。

こうした状況の変化や法改正の趣旨を踏まえ、従来は2月補正予算で設定しておりました繰越明許費について、9月定例会県議会において承認をお願いするものでございます。

2ページをお開きください。

その他の議案等につきまして、御説明いたします。

（1）条例案についてでございます。

今議会におきまして、徳島県立自然公園条例の一部を改正する条例について、提出することとしております。

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律により、自然公園法の一部が改正されたことに鑑み、徳島県立自然公園の指定認定機関に係る欠格条項の適正化を図る必要があることから、改正を行うものであります。

改正の概要及び施行期日につきましては、記載のとおりでございます。

以上が、今議会に提出を予定いたしております案件でございます。

続きまして、この際3点、御報告させていただきます。

ラグビーワールドカップ2019ジョージア代表事前チームキャンプ実施状況についてでございます。

お手元にお配りの資料1を御覧ください。

今月20日から開幕する、ラグビーワールドカップ2019に出場するジョージア代表チームが、今月9日から16日までの8日間、鳴門・大塚スポーツパーク球技場を拠点に事前チームキャンプを行っております。

キャンプ期間中には、練習を公開していただくとともに、スクールビジットやラグビークリニックなど、県民との交流を積極的に行っているところです。また、キャンプ地である鳴門市及び北島町の小・中学校において、ジョージア代表チーム応援のぼりを製作していただくなど、機運が盛り上がっているところであり、ワールドカップ本番では、スクールビジットを実施した四国大学や里浦小学校において、パブリックビューイングを実施し、県を挙げてジョージア代表チームを応援してまいります。

次に、資料2を御覧ください。

東京2020オリンピック・パラリンピックに係るトレーニングキャンプ実施状況についてでございます。

まず、オリンピック関係では、本県での事前キャンプが決定しているドイツの柔道が、7月30日から8月10日にかけて、次世代のドイツ柔道を担う21歳以下の代表チームの強化キャンプを、さらに、8月19日から26日にかけては、オリンピック前哨戦となる世界柔道選手権大会の事前キャンプを、鳴門・大塚スポーツパークソイジョイ武道館において実施いたしました。

また、先月30日にホストタウンとして追加登録されたネパールについては、7月31日から今月3日にかけて、水泳代表チームがJAバンクちよきんぎょプールで、アーチェリー代表チームが徳島科学技術高校アーチェリー場で、トレーニングキャンプを実施いたしました。

さらに、事前キャンプが決定しているカンボジアの水泳が、8月8日から今月11日にかけて、JAバンクちよきんぎょプールにおいて、県内競技者やネパール代表チームとの合同練習を行うなど、トレーニングキャンプを実施したところです。

次に、パラリンピック関係では、ドイツのカヌー代表チームが、今月5日から10日にかけて、東京2020テストイベントの事前キャンプを那賀町川口ダム湖において実施し、本県の充実した練習環境に高評価を頂いたところです。

また、本県を訪れた選手の皆様には、競技力の強化はもとより、県民との交流や本県の食や文化を御体験いただき、その魅力をSNS等により世界に向けて大きく発信していた

だいたところでは。

今後とも、事前キャンプ誘致に向けて、しっかりと取り組むとともに、代表チームが万全の体制でオリンピックに参加できるよう、受入準備を着実に進めてまいります。

続きまして、資料3を御覧ください。

東京2020オリンピック聖火ランナー応募状況についてでございます。

令和元年6月定例県議会の付託総務委員会におきまして、御報告させていただいたところではありますが、東京2020オリンピック聖火リレー徳島県実行委員会では、7月1日の月曜日から8月31日の土曜日までの間、聖火ランナーの募集を行いました。その結果、募集人数41名に対し、1,411件という多くの御応募を頂いたところでもあります。

今後、徳島県実行委員会では、厳正な選考を実施した上で、聖火ランナー候補者を公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に推薦することとしております。その後、組織委員会が当選者を決定し、当選された方には、2019年12月以降、組織委員会が正式な当選通知をお送りすることとなります。

県といたしましては、聖火リレーの成功に向け、着実に準備を進めてまいります。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

岡田委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

（「なし」と言う者あり）

これをもって、質疑を終わります。

以上で、県民環境部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（11時49分）